



平成 29 年 2 月 16 日

各 位

会社名 株式会社テ・ウエスタン・セラピ°テクス研究所
代表者名 代表取締役社長 日高 有一
(コード番号:4576)
問合せ先 取締役総務管理部長 川上 哲也
TEL 052-218-8785

資金の借入に関するお知らせ

当社は、本日付で、下記のとおり資金借入の契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

1. 資金の借入の理由

当社は、平成 29 年 1 月 31 日付「事業譲受契約締結に関するお知らせ」にて発表いたしましたとおり、株式会社ヘリオス（本社：東京、代表取締役社長：鍵本忠尚氏）の BBG250 を含有する眼科手術補助剤にかかる事業（以下、「本事業」）の譲り受けを行う契約を締結いたしました。

本事業譲受費用の一部については、下記のとおり資金の借入を行い充当いたします。

2. 借入の概要について

(1) 借入先	株式会社みずほ銀行
(2) 借入金額	600 百万円
(3) 借入金利	みずほ銀行 TIBOR 3 ヶ月 + 1.00% (年率)
(4) 借入実行日	平成 29 年 2 月 22 日
(5) 返済期日	平成 35 年 12 月 31 日 ※但し、平成 35 年 12 月 31 日が銀行営業日でない場合はその前の銀行営業日)
(6) 返済方法	2 年据置き後、3 ヶ月毎元金均等返済
(7) 担保の有無	無担保・無保証

3. 今後の見通し

本借入による平成 29 年 12 月期業績への影響は軽微であります。

BBG250 について

国立大学法人九州大学の研究グループが発見した BBG250 (Brilliant Blue G-250) という染色性の高い色素を主成分とした眼科手術補助剤を、株式会社産学連携機構

九州からの独占的ライセンスに基づき開発しております。

上記の眼科手術補助剤に関する日本以外の全世界向けの独占的なサブライセンスを Dutch Ophthalmic Research Center International B.V.（以下、「DORC 社」）に付与しており、DORC 社は、平成 22 年 9 月から欧州等において、この眼科手術補助剤を製造・販売しております。この製品は、BBG250 の高い染色性を利用して、眼内にある内境界膜を安全に染色し、眼科手術における内境界膜剥離を行いやすくするものです。

一方、日本国内については、わかもと製薬株式会社（以下「わかもと製薬」）に眼科手術用途の内境界膜染色についての独占的サブライセンスを付与しており、わかもと製薬が製造販売承認の取得に向けて開発を進めております。

BBG250 にかかる各開発品の現時点での進捗は以下のとおりです。

対象疾患	市場	開発段階	進捗状況
硝子体手術	日本	第Ⅲ相臨床試験	わかもと製薬にて開発中
白内障手術	日本	第Ⅱ相臨床試験	ライセンス先決定後、速やかに開発を進める
内境界膜剥離	欧州	上市	販売中
内境界膜剥離	米国	第Ⅲ相臨床試験	DORC 社にて開発中

以 上